

2016年8月19日

公益財団法人日本テニス協会

### 日本初のオリンピック・メダル(テニス)の特別展示のお知らせ

リオ・オリンピックテニス競技での錦織圭選手の銅メダルの獲得は、日本テニスにとって96年振りのオリンピック・メダルという偉業でした。この96年前のテニス競技での日本のオリンピック・メダル獲得は、1920年の第7回アントワープ大会での熊谷一弥選手によるテニス男子シングルスでの銀メダルであり、さらに日本にとって初めてのオリンピック・メダルでもありました。

この銀メダルは秩父宮スポーツ博物館に保管されておりますが、同博物館は霞ヶ丘競技場建て替えにより一時的に埼玉県綾瀬市に移転し、展示等はなされておられません。しかし、リオデジャネイロオリンピックの開催に鑑み、「2020年東京オリンピックがやってくる」と命名された秩父宮記念スポーツ博物館巡回展が8月8日(月)から8月26日までの間、豊島区役所1階センタースクエアで開催中です。

錦織圭選手のテニス競技での銅メダル獲得の快挙により、日本で最初のオリンピック・メダルに多くの関心が寄せられていることから、豊島区役所での巡回展の展示品に8月19日(木)より96年前に熊谷一弥選手が獲得した銀メダルが追加されることとなりました。

秩父宮スポーツ博物館のご了解の下、日本テニス協会は日本初のオリンピック・メダル(テニス)の特別展示のお知らせをホームページ上で掲載することといたしました。

尚、秩父宮スポーツ博物館巡回展示会につきましては、次のURLをご参照ください。

<http://www.jpnsport.go.jp/muse/annai/tabid/330/Default.aspx>

以上